令和４年度　第１回　高松市国民健康保険運営協議会

日時：令和４年８月１９日（金）１５時３０分～

場所：高松市役所　１３階　大会議室

目　次

【報告事項】

1　令和３年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算について・・・・・　1

2　赤字削減・解消計画実施状況報告について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

3　高松市国民健康保険料収納率向上プランの策定について・・・・・・・・・・・・・・　12

4　高松市国民健康保険女木診療所及び男木診療所の診療日時変更について・・・・・　23

報告事項
１　令和３年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算について

予算

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　82.0	総務費　6.2
国・県支出金　324.8	保険給付費　321.2
繰入金　41.0 （法定外8.5）	国民健康保険納付金 116.5
諸収入　1.6	保健事業費　5.0
その他　0.1	その他　0.6

R 2　449.5億円

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　77.8	総務費　6.1
国・県支出金　319.0	保険給付費　315.0
繰入金　39.6 （法定外5.2）	国民健康保険納付金 111.7
諸収入　1.6	保健事業費　4.9
その他　0.2	その他　0.5

R 3　438.2億円

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　75.6	総務費　5.9
国・県支出金　311.3	保険給付費　307.2
繰入金　37.2 （法定外2.1）	国民健康保険納付金 106.7
諸収入　1.3	保健事業費　4.9
その他　0	その他　0.7

R 4　425.4億円

決算

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　80.0	総務費　5.9
国・県支出金　301.6	保険給付費　295.3
繰入金　40.1 （法定外4.5）	国民健康保険納付金 116.5
諸収入　1.1	保健事業費　4.5
その他　0.1	その他　0.7

R 2　422.9億円

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　79.9	総務費　5.8
国・県支出金　312.3	保険給付費　307.4
繰入金　36.6 （法定外0）	国民健康保険納付金 111.7
諸収入　1.1	保健事業費　4.3
その他　0.1	その他　0.8

R 3　430.0億円

歳入科目		R３決算（億円）	R３決算見込（億円）	R３予算（億円）	R２決算（億円）
国民健康保険料		79.9	78.9	77.8	80.0
	対R3決算見込比	1.0	－	▲ 1.1	1.1
	対R3予算比	2.1	1.1	－	2.2
	対R2決算比	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 2.2	－
国・県支出金		312.3	319.5	319.0	301.6
	対R3決算見込比	▲ 7.2	－	▲ 0.5	▲ 17.9
	対R3予算比	▲ 6.7	0.5	－	▲ 17.4
	対R2決算比	10.7	17.9	17.4	－
諸収入		1.1	0.8	1.6	1.1
	対R3決算見込比	0.3	－	0.8	0.3
	対R3予算比	▲ 0.5	▲ 0.8	－	▲ 0.5
	対R2決算比	0.0	▲ 0.3	0.5	－
繰入金		36.6	39.1	39.6	40.1
	対R3決算見込比	▲ 2.5	－	0.5	1.0
	対R3予算比	▲ 3.0	▲ 0.5	－	0.5
	対R2決算比	▲ 3.5	▲ 1.0	▲ 0.5	－
（繰入金のうち法定外）		0.0	2.3	5.2	4.5
	対R3決算見込比	▲ 2.3	－	2.9	2.2
	対R3予算比	▲ 5.2	▲ 2.9	－	▲ 0.7
	対R2決算比	▲ 4.5	▲ 2.2	0.7	－
その他		0.1	0.0	0.2	0.1
	対R3決算見込比	0.1	－	0.2	0.1
	対R3予算比	▲ 0.1	▲ 0.2	－	▲ 0.1
	対R2決算比	0.0	▲ 0.1	0.1	－
歳入計		430.0	438.3	438.2	422.9
	対R3決算見込比	▲ 8.3	－	▲ 0.1	▲ 15.4
	対R3予算比	▲ 8.2	0.1	－	▲ 15.3
	対R2決算比	7.1	15.4	15.3	－
法定外繰入を除く歳入計	＜Ａ＞	430.0	436.0	433.0	418.4
	対R3決算見込比	▲ 6.0	－	▲ 3.0	▲ 17.6
	対R3予算比	▲ 3.0	3.0	－	▲ 14.6
	対R2決算比	11.6	17.6	14.6	－

		R３決算（億円）	R３決算見込（億円）	R３予算（億円）	R２決算（億円）
黒字額又は赤字額	＜Ａ＞－＜Ｂ＞	0.3	▲ 2.3	▲ 5.2	▲ 4.5

歳出科目		R３決算（億円）	R３決算見込（億円）	R３予算（億円）	R２決算（億円）
総務費		5.8	6.2	6.1	5.9
	対R3決算見込比	▲ 0.4	－	▲ 0.1	▲ 0.3
	対R3予算比	▲ 0.3	0.1	－	▲ 0.2
	対R2決算比	▲ 0.1	0.3	0.2	－
保険給付費		307.4	315.0	315.0	295.3
	対R3決算見込比	▲ 7.6	－	0.0	▲ 19.7
	対R3予算比	▲ 7.6	0.0	－	▲ 19.7
	対R2決算比	12.1	19.7	19.7	－
国民健康保険事業費納付金		111.7	111.7	111.7	116.5
	対R3決算見込比	0.0	－	0.0	4.8
	対R3予算比	0.0	0.0	－	4.8
	対R2決算比	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 4.8	－
保健事業費		4.3	4.9	4.9	4.5
	対R3決算見込比	▲ 0.6	－	0.0	▲ 0.4
	対R3予算比	▲ 0.6	0.0	－	▲ 0.4
	対R2決算比	▲ 0.2	0.4	0.4	－
翌年度繰越		0.3	0.0	0.0	0.0
	対R3決算見込比	0.3	－	0.0	0.0
	対R3予算比	0.3	0.0	－	0.0
	対R2決算比	0.3	0.0	0.0	－
その他		0.5	0.5	0.5	0.7
	対R3決算見込比	0.0	－	0.0	0.2
	対R3予算比	0.0	0.0	－	0.2
	対R2決算比	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	－
歳出計		430.0	438.3	438.2	422.9
	対R3決算見込比	▲ 8.3	－	▲ 0.1	▲ 15.4
	対R3予算比	▲ 8.2	0.1	－	▲ 15.3
	対R2決算比	7.1	15.4	15.3	－
翌年度繰越を除く歳出計	＜Ｂ＞	429.7	438.3	438.2	422.9
	対R3決算見込比	▲ 8.6	－	▲ 0.1	▲ 15.4
	対R3予算比	▲ 8.5	0.1	－	▲ 15.3
	対R2決算比	6.8	15.4	15.3	－

歳入・歳出決算状況（款別）

※決算状況の詳細については、別冊資料Ｐ1～P4を参照

歳入科目	Ｒ３決算（千円）	Ｒ３決算見込（千円）	Ｒ２決算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
国民健康保険料	**7,988,170**	**7,885,449**	7,996,325	▲8,155	▲0.1
一部負担金	**0**	**2**	0	0	－
使用料及び手数料	**3,936**	**5,022**	3,935	1	+0.0
国庫支出金	**47,268**	**47,238**	113,987	▲66,719	▲58.5
県支出金	**31,181,823**	**31,899,846**	30,050,104	1,131,719	+3.8
財産収入	**0**	**0**	1	▲1	皆減
繰入金 （うち法定外）	**3,664,076** **(0)**	**3,914,584** **(233,316)**	4,012,928 (450,626)	▲348,852 (▲450,626)	▲8.7 (皆減)
繰越金	**0**	**0**	0	0	－
諸収入	**112,136**	**81,205**	111,772	364	+0.3
計	**42,997,409**	**43,833,346**	42,289,052	**708,357**	**+1.7**

歳出科目	Ｒ３決算（千円）	Ｒ３決算見込（千円）	Ｒ２決算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
総務費	**576,234**	**617,358**	590,070	▲13,836	▲2.3
保険給付費	**30,740,727**	**31,499,600**	29,531,821	1,208,906	+4.1
国民健康保険事業費納付金	**11,171,289**	**11,171,291**	11,653,631	▲482,342	▲4.1
保健事業費	**432,530**	**485,199**	445,875	▲13,345	▲3.0
基金積立金	**0**	**0**	1	▲1	皆減
諸支出金	**50,919**	**59,898**	67,654	▲16,735	▲24.7
翌年度繰越金	**25,710**	**0**	0	25,710	皆増
計	**42,997,409**	**43,833,346**	42,289,052	708,357	+1.7

歳入　法定外繰入金を除くR3決算額比　　R3決算見込：▲6.0億円　R2決算：11.6億円
歳出　翌年度繰越金を除くR3決算額比　　R3決算見込：▲8.6億円　R2決算： 6.8億円

歳入決算の主な増減

■款：国民健康保険料

Ｒ3決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
7,988,170千円	7,996,325千円	▲8,155千円	▲0.1％

減：被保険者数の減に伴う保険料収入の減　約０．０８億円
（被保険者数：R2 79,944人　→　R3 78,668人）

≪参考≫
増：Ｒ3決算見込との差額　約１．０億円

■款：国庫支出金

Ｒ3決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
47,268千円	113,987千円	▲66,719千円	▲58.5%

減：★新型コロナウイルス感染症の影響に伴う
保険料収入の減に係る補助金　約０．５億円

減：★オンライン資格確認等システムの導入に係る補助金
約０．２億円

■款：県支出金

Ｒ3決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
31,181,823千円	30,050,104千円	1,131,719千円	+3.8％

増：★保険給付費の増に伴う普通交付金　１１．７億円
減：★特別調整交付金等の減に伴う特別交付金　約０．６億円

≪参考≫
減：Ｒ3決算見込との差額　約７．２億円

■款：繰入金

Ｒ３決算	Ｒ２決算	増減額	対前年度比
3,664,076千円	4,012,928千円	▲348,852千円	▲8.7％

増：★基盤安定繰入金　約０．５億円
減：★その他一般会計繰入金　約４．５億円

≪参考≫
減：Ｒ3決算見込との差額　約２．５億円

★…令和３年度重点項目

歳出決算の主な増減

■款：国民健康保険事業費納付金

Ｒ３決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
11,171,289千円	11,653,631千円	▲482,342千円	▲4.1％

減：被保険者数の減等に伴う納付金　　約４．８億円

■款：保険給付費（細々目：一般被保険者療養給付費ほか）

Ｒ3決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
30,740,727千円	29,531,821千円	1,208,906千円	+4.1％

増：★一般被保険者療養給付費等　　約１１．０億円
増：一般被保険者高額療養費　　約１．２億円

≪参考≫
減：Ｒ3決算見込との差額　　約７．６億円

■款：保健事業費

Ｒ３決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
432,530千円	445,875千円	▲13,345千円	▲3.0％

減：特定健康診査業務医療機関委託等【別冊Ｐ７】14,263千円
減：結核・精神申請支援業務委託料　　1,650千円

≪参考≫
減：Ｒ3決算見込との差額　　約０．６億円

★…令和３年度重点項目

保健事業費　細々目の主な増減

■款：保健事業費（細々目：健康推進費）

Ｒ３決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
105,595千円	102,873千円	2,722千円	+2.6％

減：第２期データヘルス計画中間評価業務委託　4,396千円
（皆減）
増：医師確保対策事業費負担金　2,492千円

★・糖尿病性腎症重症化予防事業　9,620千円
・重複・多剤服薬者対策事業等　5,065千円

★・若年層対策健康診査業務委託【別冊P8】　2,988千円

・人間ドック等費用助成【別冊P9】　16,025千円

★・後発医薬品の使用啓発　995千円

■款：保健事業費（細々目：特定健診事業費）

Ｒ３決算	Ｒ２決算	増減額	対前年度比
283,130千円	298,169千円	▲15,039千円	▲5.0％

減：★特定健康診査業務医療機関委託　14,263千円
【別冊Ｐ７】

■款：保健事業費（細々目：特定保健指導事業費）

Ｒ3決算	Ｒ2決算	増減額	対前年度比
31,672千円	31,227千円	445千円	+1.4％

増：会計年度任用職員補充に伴う給料等　2,166千円
減：福祉保健系システム改修費の皆減　1,870千円
（健康づくり推進課分・皆減）

★…令和3年度重点項目

報告事項
２　赤字削減・解消計画実施状況報告について

様式第２

赤字削減・解消計画実施状況報告書（市町村）

（第４年次　令和３年度分）

都道府県名	保険者番号	保険者名
香川県	1	高松市

①赤字の発生状況

年度(赤字発生年度)	平成28年度	赤字の原因
法定外繰入金	775,297千円	被保険者数の減少に伴い、全体の診療費も減少しているが、高齢化の進展や医療技術の高度化により、一人当たりの診療費は増大している。一方、被保険者数の減少や収納率の低下等に伴い保険料収入額の減少が見られる。また、本市の国民健康保険の被保険者の約46%が所得がない状態にあるなど、低所得者が多いことも本市国保財政の赤字の原因となっている。
繰上充用金の新規増加分	千円	
赤字額（合計）	775,297千円	

②赤字削減計画実施（予定）状況

年度別赤字削減予定額（率）

計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
法定外繰入の削減予定額（率）	172,691　千円（%）	49,309　千円（%）	77,530※　千円（%）	77,530　千円（%）	77,530　千円（%）	77,530　千円（%）	532,120　千円（%）
繰上充用金の新規増加分の削減予定額（率）	千円（%）	千円（%）	千円（%）	千円（%）	千円（%）	千円（%）	千円（%）
合計 赤字削減予定額（率）	172,691　千円（%）	49,309　千円（%）	77,530　千円（%）	77,530　千円（%）	77,530　千円（%）	77,530　千円（%）	532,120　千円（%）
赤字削減額	▲ 902,343　千円（%）	193,283　千円（%）	1,484,357　千円（%）	0　千円（%）	千円（%）	千円（%）	775,297　千円（%）

実施状況の詳細	今後の取組
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）における、令和3年度決算では、令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響等により、法定外繰入金は皆減となったが、今後とも、被保険者数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う医療費の動向など、先行きが不透明な状況が続くことが予想されるため、引き続き、本計画を活用し、赤字削減、解消に努める。 ①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 ・取組：各総合センターでの口座振替受付サービスを開始した。 保険料収納額：令和2年度　80.0億円　→　令和3年度　79.9億円（－0.1億円） 収納率：令和2年度　91.38%　→　令和3年度　91.54%　（＋0.16%） ②事業内容の総点検及び見直しや、県支出金等の更なる公費の獲得 ・取組：歳出面では、事業内容の総点検や見直しを行い、経常経費の削減に取り組んだ。歳入面では、特別調整交付金等の新規追加メニューの獲得に向けて取り組むなど、積極的な財源確保を行った。 歳出総額（保険給付費除く）：令和2年度　127.6億円　→　令和3年度　122.3億円（－5.3億円） 県支出金（特別交付金）：令和2年度　7.3億円　→　令和3年度　7.0億円（－0.3億円） ③各種保険事業の取組強化及び医療費の適正化 ・取組：若年層の健康診査に対してのフォローアップ事業を始めるなど、保健事業の取組強化を行い、医療費の適正化を目指して取組を行った。 保険給付費　令和2年度　295.3億円　→　令和3年度　307.4億円（＋12.1億円）	①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 保険料改定後の国保財政状況の把握・分析を行うとともに、県内保険料水準の統一化も見据えながら、安定的かつ持続可能な国保運営のために必要な金額及び適正な保険料水準について検討を重ねる。また、令和４年度中に「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」を策定し、効果的な収納対策に取り組む。 ②事業内容の総点検及び見直しや、県支出金等の更なる公費の獲得 歳出面では、事務の総点検及び見直しを行い、経常経費の削減に取り組む。歳入面では、国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。 ③各種保険事業の取組強化及び医療費の適正化 各種保健事業等の取組の強化を行い、医療費の適正化を図る。

※計画策定基準の赤字額775,297千円を10年計画で削減するため、毎年1/10の77,530千円を削減予定額に設定

様式第1

赤字削減･解消変更計画書（市町村）

（平成30年度から令和5年度まで6ヵ年計画）

都道府県名	保険者番号	保険者名
香川県	1	高松市

①赤字の発生状況			
年度(赤字発生年度)	平成28年度	赤字の原因	
法定外繰入金 ※1	775,297千円	被保険者数の減少に伴い、全体の診療費も減少しているが、高齢化の進展や医療技術の高度化により、一人当たりの診療費は増大している。一方、被保険者数の減少や収納率の低下等に伴い保険料収納額の減収が見られる。また、本市の国民健康保険の被保険者の約46%が所得がない状態であるなど、低所得者が多いことも本市国保財政の赤字の原因となっている。	
繰上充用金の新規増加分 ※2	0千円		
赤字額（合計）	775,297千円		

②赤字削減計画	
赤字削減・解消のための基本方針	赤字削減・解消のための具体的取組内容
①保険料の適正化に向けた取組 ②保険料収納率の向上 ③特別交付金等の公費の更なる獲得 ④保健事業の積極的な実施による医療費適正化 赤字解消目標年度　令和21年度（平成30年度決算における赤字（決算補填目的）約16.7億円を解消するための目標年度）	①令和2年度に保険料改定（被保険者1人当たりの保険料＋14,703円） ②ペイジー口座振替受付サービスの導入による保険料の口座振替推進に向けた取組（口座振替加入率＋年1%） ③保険者努力支援制度や特別調整交付金の増収に向けた取組 ④特定健康診査の受診率向上対策事業等の保健事業に積極的に取り組み、医療費の適正化を図ることにより、国保財政の健全化につなげる。

年度別の赤字削減予定額（率）※3

計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
法定外繰入の削減予定額（率）	172,691 千円	49,309 千円	77,530 千円	77,530 千円	77,530 千円	77,530 千円	532,120 千円
繰上充用金の新規増加分の削減予定額（率）	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
合計 赤字削減予定額（率）	172,691 千円	49,309 千円	77,530 千円	77,530 千円	77,530 千円	77,530 千円	532,120 千円

※1　国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。
※2　当該年度の繰上充用（当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる）の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。
※3　率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

様式第1

赤字削減・解消変更計画書（市町村）

（平成30年度から令和5年度まで6ヵ年計画）

都道府県名	保険者番号	保険者名
香川県	1	高松市

①赤字の発生状況			
	年度(赤字発生年度)	平成28年度	赤字の原因
	法定外繰入金 ※1	775,297千円	被保険者数の減少に伴い、全体の診療費も減少しているが、高齢化の進展や医療技術の高度化により、一人当たりの診療費は増大している。一方、被保険者数の減少や収納率の低下等に伴い保険料収納額の減収が見られる。また、本市の国民健康保険の被保険者の約46%が所得がない状態であるなど、低所得者が多いことも本市国保財政の赤字の原因となっている。
	繰上充用金の新規増加分 ※2	0千円	
	赤字額（合計）	775,297千円	

②赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針	赤字削減・解消のための具体的取組内容
	①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 ②事業内容の総点検及び見直しや、県支出金等の更なる公費の獲得 ③各種保健事業の取組強化及び医療費の適正化 ※赤字解消目標年度　令和9年度（平成28年度決算における赤字（決算補填目的）約7.8億円を解消するための目標年度）	①令和2年度保険料改定（被保険者1人当たりの保険料＋14,703円）後の国保財政状況の把握・分析を行うとともに、県内保険料水準の統一化も見据えながら、安定的かつ持続可能な国保運営のために必要な金額及び適正な保険料水準について検討を重ねる。また、「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」を策定し、効果的な収納対策に取り組む。 ②歳出面では、事務の総点検及び見直しを行い、経常経費の削減に取り組む。歳入面では、国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。 ③各種保健事業等の取組の強化を行い、医療費の適正化を図る。

年度別の赤字削減予定額（率）※3	計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
	年　度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	法定外繰入の削減予定額（率）	172,691　千円	49,309　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	532,120　千円
	繰上充用金の新規増加分の削減予定額（率）	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円
	合計 赤字削減予定額（率）	172,691　千円	49,309　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	532,120　千円

※1　国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。
※2　当該年度の繰上充用（当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる）の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。
※3　率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

〇計画策定基準の赤字額775,297千円を10年計画で削減するため、毎年1/10の77,530千円を削減予定額に設定

報告事項

３　高松市国民健康保険料収納率向上プランの策定について

高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

1　策定の趣旨

〇国保制度の構造的な問題
　⇒他の健康保険制度と比較し、医療費水準、低所得者層の加入割合がいずれも高い

〇国の制度改革（平成３０年度）　⇒　国保制度の安定化及び基盤強化を図る
・都道府県を財政運営の主体とする　・保険者努力支援制度の創設
　⇒香川県においても、将来的には県内の保険料水準の統一を検討するとの方向性

〇国保制度の主な財源　⇒　公費負担と保険料
・本市の令和３年度保険料現年分収納率　約９１．５％に留まっている。

〇昨今のコロナ禍や原油・物価高騰の影響等　⇒　経済的に困窮している加入世帯が増加
・今後の国保制度の運営に関する懸念材料

保険料の収納率向上と収入未済額削減に取り組む

高松市国民健康保険料収納率向上プランの策定

2　取組期間

令和４年度から８年度までの５年間

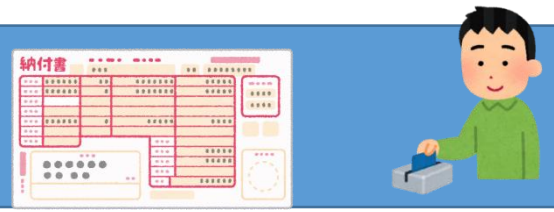
※第４次高松市債権の適正管理方針と同じ期間に設定

高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

3　基本的方針

これまでの取組や課題を踏まえ、今後も効果的に保険料の収納率向上に取り組むため、高松市国民健康保険料収納率向上プランにおいて、次の基本的方針に基づき、各種取組を行うこととする。

①　滞納発生の未然防止



②　滞納世帯への対応

③　納付困難世帯への対応

高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

４－(１)　滞納発生の未然防止

①　納付手段の拡充

○　口座振替の更なる推進
- 口座振替による納付に対応できる金融機関（ネット銀行など）の拡充
- ＷＥＢ上で、口座振替手続きを完了できる仕組みづくりへの取組

○　キャッシュレス決済の拡充
- ＱＲコード読み取りによる納付に対応できる決済手段の拡充
- その他のキャッシュレス決済による納付方法の検討

②　納期内納付の啓発

○　「現在」の世代への啓発
- 納期内納付の啓発に特化した見やすく分かりやすいチラシ等の作成

○　「未来」の世代への啓発
- 就学児童・生徒を対象とした、国保の仕組みや重要性を伝える取組の検討

③　地域行政組織再編への対応

○　出張所の取扱業務見直しへの対応（窓口から口座振替等による納付への切替えを推進）
- 各総合センターへ担当職員へ出向き「出張説明会」を開催

高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

４－(２)　滞納世帯への対応

①　納付相談・指導

○　電話催告等の拡充・強化

・　分割納付が１～２か月中断している滞納世帯等を抽出し、個別に電話で催告

②　各種調査及び滞納処分

○　調査活動の充実・強化

・　法令等に基づく預貯金調査の調査先を、ネット銀行等にも拡大

・　郵便物が居所不明等により返戻された世帯を対象に、預貯金等の資産調査を実施

○　滞納処分及び執行停止

・　資産調査の結果等を踏まえ、差押や裁判所への交付要求等の滞納処分を実施

・　資産調査の結果から、資力がないと判断される場合は、滞納処分を執行停止

③　滞納整理体制の強化

○　担当職員のレベルアップと債権回収室との連携強化

・　収納・徴収事務に関する研修への積極的な参加

・　移管する案件の資産調査の事前実施や債権差押時の同行等、債権回収室と連携した形での滞納整理

○　「滞納対策チーム」の発足

・　高額滞納世帯など困難案件の滞納処分を前提とした、各種資産調査や個別催告を集中的に行う、「滞納対策チーム」を課内に設置

４－(３)　納付困難世帯への対応

①　生活困窮者への対応

○　庁内・庁外との連携強化

・　収入や債務等の家計面や家族の関係性など、複合的な問題を抱えている世帯に対する庁内関係部署並びに自立相談支援センターたかまつなど、関係機関を積極的に案内

②　県外転出者への対応

○　転出後の対策

・　年2回実施する文書催告の際に、全国のコンビニで納付が可能である旨のチラシの配布

・　文書催告後も納付がない世帯に対する納付書の送付

③　外国人への対応

○　広報活動の強化

・　外国人に向けて、見やすく、わかりやすい形で、国民健康保険制度の仕組み等を伝えるチラシ等の作成

○　関係機関との連携強化

・　在留許可の決定機関である地方出入国在留管理局との、外国人の在留資格や滞納処分等に関する、意見交換や情報共有を行う

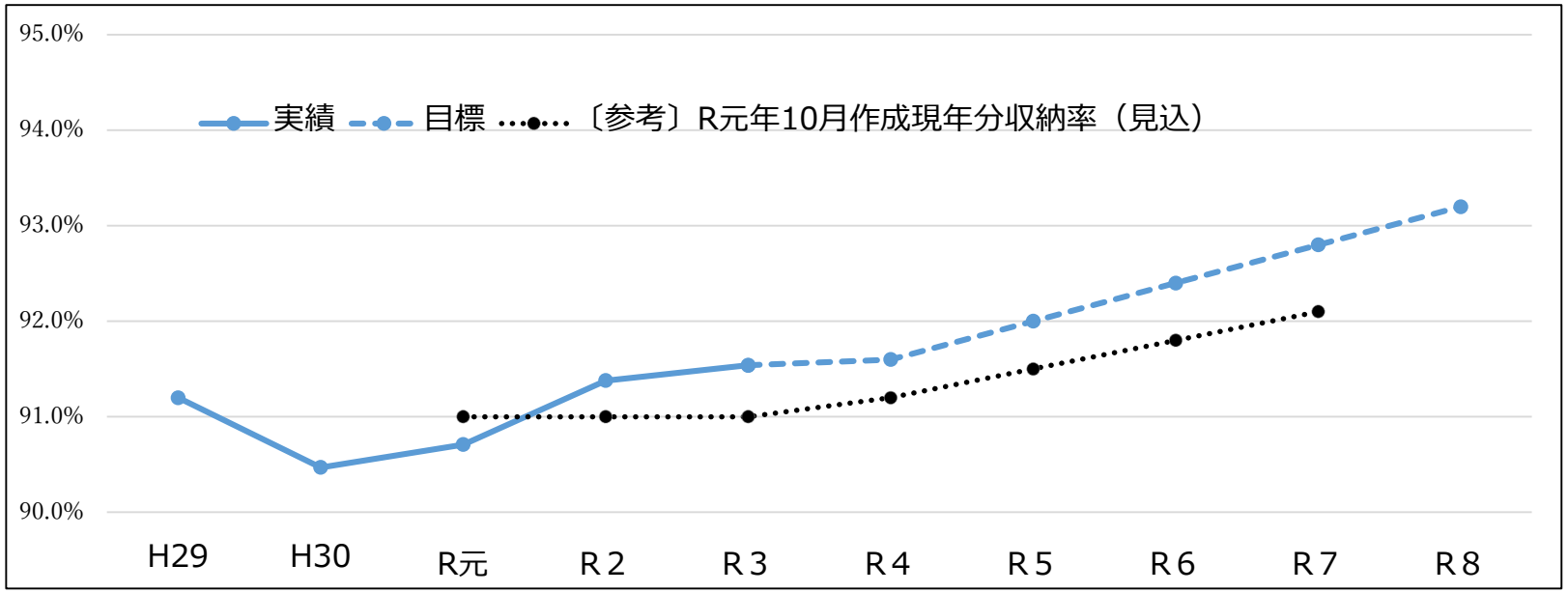
高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

５－（１）　目標　保険料における収納率（現年分・滞納繰越分）

①現年分収納率：**９３．２%**　(R2年度中核市平均値　93.02%)

区分＼実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
現年分収納率	91.20%	90.47%	90.71%	91.38%	91.54%

区分＼目標	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
現年分収納率	91.60%	92.00%	92.40%	92.80%	**93.20%**



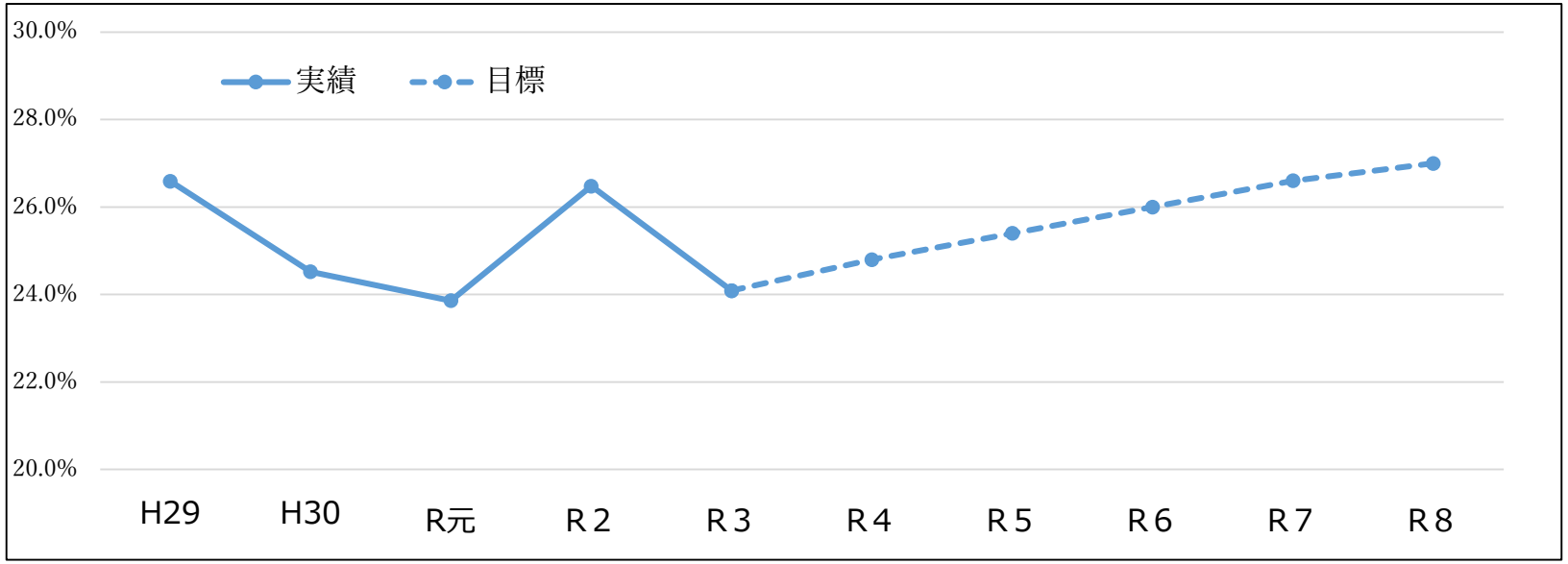
高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

５－(２)　目標

②滞納繰越分収納率：**２７%**　(R2年度中核市平均値　24.95%)

区分＼実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
滞納繰越分収納率	26.59%	24.52%	23.86%	26.48%	24.09%

区分＼目標	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
滞納繰越分収納率	24.80%	25.40%	26.00%	26.60%	**27.00%**



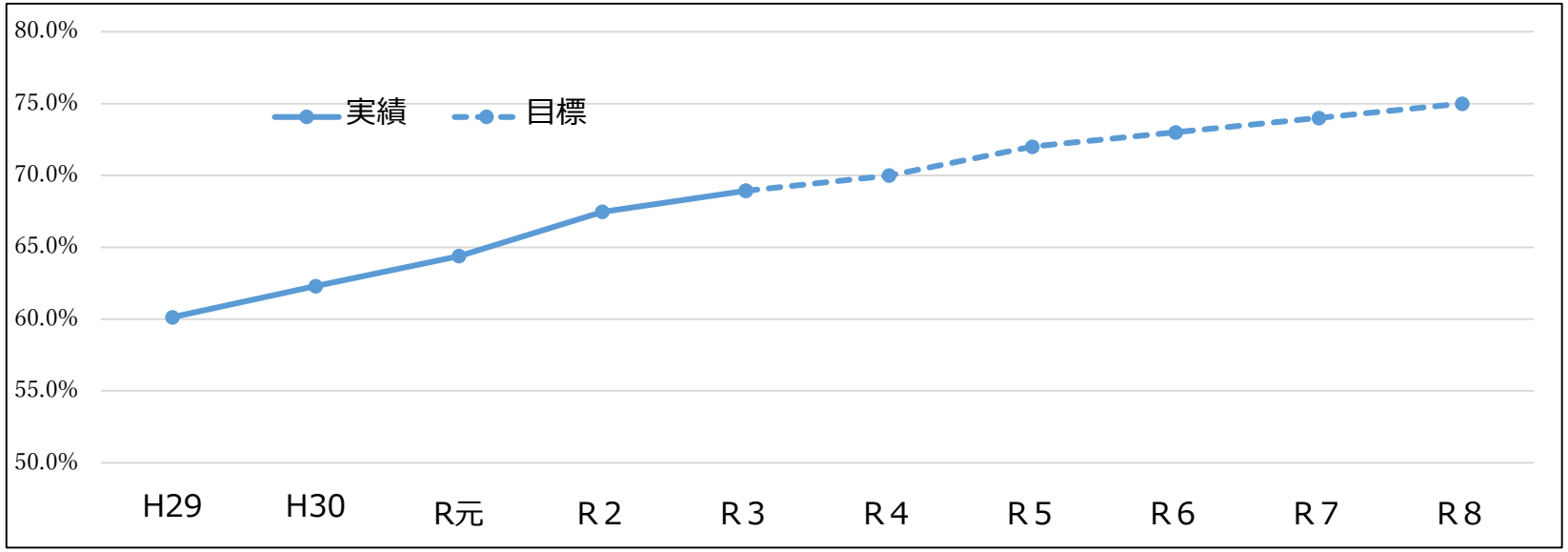
高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

５－(３)　目標

③窓口納付以外の納付率：７５%

区分＼実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
窓口納付以外の納付率	60.13%	62.30%	64.39%	67.47%	68.93%

区分＼目標	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
窓口納付以外の納付率	70.00%	72.00%	73.00%	74.00%	**75.00%**



高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

取組スケジュール（主なもの）

		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
（１） 滞納発生の未然防止	・ 納付可能な金融機関の拡充	(検討・準備)		→	→	→
	・ 啓発に特化したチラシ等の作成	(検討・準備)	→	→	→	→
	・ 出張説明会の開催	→	→	→	→	→

		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
（２） 滞納世帯への対応	・ 滞納世帯への早期の電話催告	→	→	→	→	→
	・ 預貯金調査先の拡充	(検討・準備)		→	→	→
	・ 「滞納対策チーム」の課内設置	(検討・準備)	→	→	→	→

高松市国民健康保険料収納率向上プランの概要

取組スケジュール(主なもの)

		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
（３） 納付困難世帯への対応	・ 関係機関への積極的な案内	→	→	→	→	→
	・ 催告書発送後も未納な世帯への納付書送付	(検討・準備)	→	→	→	→
	・ 見やすく分かりやすいチラシ等の作成	(検討・準備)		→	→	→

報告事項

４　高松市国民健康保険女木診療所及び男木診療所の診療日時変更について

（愛称：オーテがみまもるクリニック）　（愛称：SETOLAS　男木島診療所）

女木・男木診療所の課題解決に向けたオンライン診療の実施

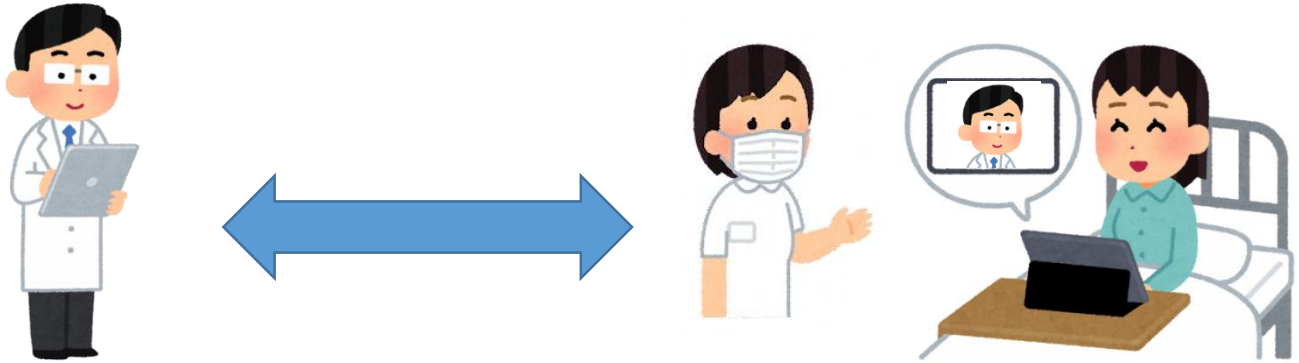
女木・男木診療所の課題

① 高齢化に伴う通所の困難
② 一日の診療時間が短い

⇒　**自宅でオンライン診療を受診することで解決**

オンライン診療の内容

看護師が、診療所のタブレットを島内の患者宅まで運び、看護師の操作するタブレットと診療所の医師が操作するタブレットを使って、患者の顔を見ながら診療を行う。



診療日時の変更

【～令和３年１１月】

月	火	水	木	金
【女木】 10:30～12:30	【女木】 10:30～12:30	休診日	【女木】 10:30～12:30	【女木】 10:30～12:30
休憩	休憩		休憩	休憩
【女木】 13:30～14:00	【女木】 13:30～14:00		【女木】 13:30～14:00	【女木】 13:30～14:00
移動	移動		移動	移動
【男木】 14:45~16:45	【男木】 14:45~16:45		【男木】 14:45~16:45	【男木】 14:45~16:45

【令和３年１２月～】

月	火	水	木	金
【男木】 10:45～12:00	【女木】 10:30～12:00	休診日	【男木】 10:45～12:00	【女木】 10:30～12:00
休憩	移動		休憩	移動
移動	休憩		移動	休憩
【女木】 14:00～17:00	【男木】 14:00~16:45		【女木】 14:00～17:00	【男木】 14:00~16:45

～令和３年１１月	診療所の在り方検討、地元協議等
令和３年１２月～令和４年３月	診療時間の見直し及びオンライン診療の実証実験
令和４年４月～	診療時間の見直し及びオンライン診療の本格実施
今後の予定	隔日診療の実施、オンライン診療の拡充